

資料 2

平成28年度第2回
日本一の健康長寿県構想嶺北地域推進協議会

平成29年3月16日(木)18:30～
本山町保健福祉センター 一般検診室

●健康づくり推進協議会開催 (2回: 9月、2月) 21団体

●たばこ対策

○たばこ部会の開催 (2回: 5月、2月)

○防煙の徹底<喫煙を開始させない、習慣化させない>

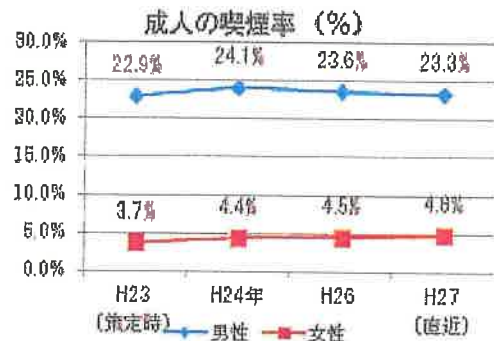
- ・健康づくり婦人会、ヘルスメイト等による学校等での紙芝居を利用した啓発 (36回1056人)
- ・防煙教育用啓発リーフレット作成

○禁煙(分煙)の推進<望まない受動喫煙を防ぐ環境づくり>

- ・関係団体等と連携した「地域で取り組む受動喫煙を防ぐ環境づくり」
「受動喫煙防止キャンペーン」: 香美市(訪問40店舗)、本山町(訪問44店舗)
- ・住民ニーズの高い飲食店等の受動喫煙防止対策
「禁煙だったらうれしい場所ベストテン」リーフレットを活用した啓発→「空気もおいしい認定店」15件増加
- ・小中学校を含む公共機関の建物内・敷地内禁煙の徹底

○禁煙支援<禁煙する人を増やす>

- ・とさ禁煙サポーターズフォローアップ研修会(ヘルスメイト129名)
- ・健康まつり等でのPR・薬剤師会、健康づくり婦人会



●高血圧対策

○食育推進計画等の推進 (南国市第2期策定、香南市、香美市毎年協議)

○市町村の健康指標について取りまとめ、研修会開催

○高血圧対策を含めた事業所の健康づくりの推進

- ・職場の健康づくり応援研修会
- ・出前健康教室 (4回、53人)
- ・グッズ貸出し (血圧計、ハチエッカー)

○減塩プロジェクトの推進 (量販店等と連携したメニュー開発、イベント等)

●歯科保健対策

○むし歯予防対策

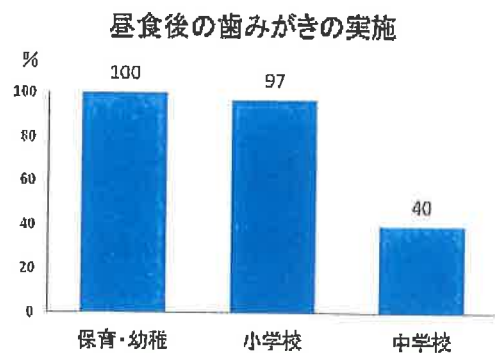
- ・フッ化物洗口実施施設拡充 (南国市: 園長会、1保育園開始、香美市: 園長会、学校保健委員会講習会)

○歯周病予防対策

- ・市町村特定健診の歯科保健指導により定期歯科健診受診や歯間部清掃用具の使用等歯周病予防習慣の定着
- ・保育所・小中学校での歯科保健実施状況調査 (93施設)

○高齢者等歯科保健対策

- ・在宅歯科連携室周知(県歯科医師会相談件数 H29.1月末)
- | | | | | |
|-----|------|----|---|-----|
| H27 | 香美香南 | 1件 | → | 13件 |
| | 土長南国 | 4件 | → | 13件 |



H28 保育所・小中学校歯科保健実施状況調査

●地域・職域連携推進

○事業所の健康づくり対策の推進

- ・職場の健康づくり研修会の開催(34名) 「健康経営」「健診後の保健指導」について研修グループワークから: 「健康づくりは投資という考え方を役員に働きかけたい」「勤務時間内に保健指導の時間を取りたい」「自販機にカロリーオフ製品を置くようにしたい」
- ・出前健康教室 (7事業所13回 延べ362人)

災害医療対策中央東支部会議報告

1 平成28年度第1回災害医療対策中央東支部会議

(1) 日時 平成29年2月16日(木) 18:30～

(2) 場所 中央東福祉保健所新館2階第2会議室

(3) 協議事項

○議長を選出について

○地域ごとの医療救護活動の行動計画(目指す姿とタイムライン)について

○シンポジウム「地震・津波から助かった命を地域全体の力を結集してつなぐために」について

○災害医療対策中央東支部会議設置要領の改正について

(4) 報告事項

○各機関における平成28年度の活動実績等について

○中央東ブロック慢性透析患者災害時支援体制検討会での検討内容等について

○平成28年度第1回高知県災害医療対策本部会議について

- ・ 熊本地震への対応
- ・ 医師を対象とした災害医療研修の実施状況

2 香南市主催前方展開型・総力戦の災害救護訓練について

(1) 日時 平成29年2月19日(日) 13:15～17:30

(2) 場所 野市中央病院

(3) 参加者数 230人

シンポジウム

主催 災害医療対策中央東支部会議 高知県中央東福祉保健所
共催 土佐長岡郡医師会 香美郡医師会

地震・津波から助かった命を 地域全体の力を結集して「つなぐ」ために

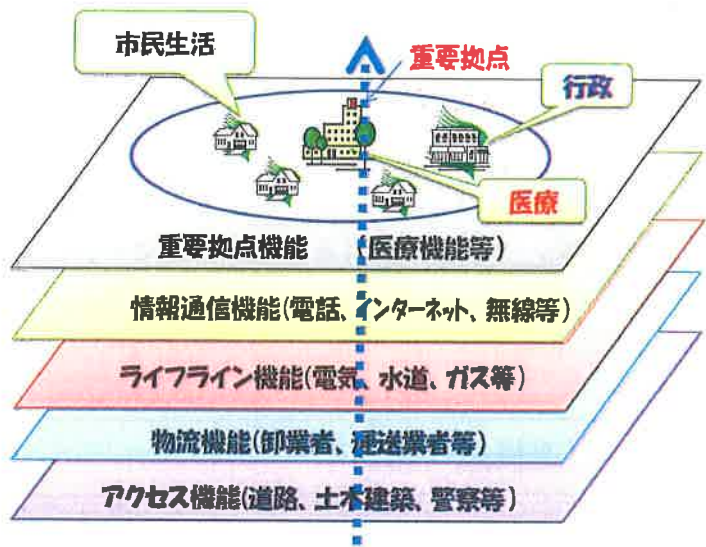
～ 医療版地域継続計画の概念を共通理解する～

私達の日々の暮らしと医療等の社会機能は、ライフライン、道路、物流、通信といった社会インフラの上に成り立っています。ところが、地震等の大規模災害で社会インフラが崩壊すると、その社会機能は大きく制限され、機能不全に陥ってしまいます。

しかし、そういった状況の中でも、地震・津波等の災害から助かった「命をつなぐ」ためには、医療と行政はもとより、社会インフラを支える事業者、さらには地域住民との連携協働も必要不可欠となります。

この連携協働を災害時に活かし、私達が住む地域・医療を継続していくには、関係者が協議し連携協働できるようにするための「事前準備」が必要です。

そこで、このシンポジウムでは、その「事前準備」を「医療版の地域継続計画」と名付け、「地震・津波から助かった命をつなぐ」という共通目的のもと、地域継続計画の概念や、被災地支援のプロフェッショナルである講師をお呼びしてご講演いただきます。そしてさらに、パネルディスカッションで具体的な場面を想定しながら、それぞれの立場での現状や課題、今後取り組んでいくべきことをより具体的にイメージし共有していただきたいと思います。



参加申し込み方法

※事前の申し込みが必要です。裏面の参加申込用紙に必要事項をご記入いただき、FAX 送付をお願いします。
(締め切りは3月10日(金)17:15まで)

プログラム

13:30～ 開会あいさつ

13:40～ 講演1

「地域継続計画策定の現状と課題」

香川大学危機管理先端教育研究センター 白木渡先生

14:00～ 講演2

「医療から見た通信・ライフライン等他部門への期待」

DMAT 事務局次長 近藤久禎先生

14:20～ パネルディスカッション

「医療版地域継続計画を目指して」

【コーディネーター】

高知県中央東福祉保健所 所長 田上豊資

【パネラー】

・香川大学危機管理先端教育研究センター 白木渡先生

・DMAT 事務局次長 近藤久禎先生

・土佐長岡郡医師会 会長 中澤宏之先生

・南国市危機管理課

・南海トラフ地震対策中央東地域本部 他

16:20～ 閉会あいさつ



2017
3/20 月
(祝日)

参加料
無料

時間 13:30～16:30 (受付 13:00～)

会場 南国市保健福祉センター2階会議室
(南国市大堀甲320)

定員 200名

至 後援 助 至 土佐くろしお鉄道 至 立田駅

南国市場
ベナレス

364

高知県保健
福祉センター

JA
広域農道

55

お問い合わせ先

高知県中央東福祉保健所

〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田 1128-1

TEL : 0887-53-3171 (代表)

FAX : 0887-52-4561



FAX 送信先：0887-52-4561

高知県中央東福祉保健所 行

【参加申込用紙】

＜シンポジウム＞
**地震・津波から助かった命を地域全体の力を結集して「つなぐ」ために
 ～医療版地域継続計画の概念を共通理解する～**
 と き：平成 29 年 3 月 20 日（月・祝日）13:30～16:30（受付 13:00～）
 ところ：南国市保健福祉センター 2 階会議室（南国市大涌甲 320）
 お申込み締切：平成 29 年 3 月 10 日（金）17:15

※氏名、職種、所属、連絡先をご記入ください。

	氏 名	職 種	所 属
1			
	ご連絡先（TEL）	—	—

▼ 2名以上のお申込みの場合は、以下の欄に続けてご記入ください。 ▼

	氏 名	職 種	所 属
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

— お問い合わせ先 —
 高知県中央東福祉保健所
 〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田 1128-1
 TEL：0887-53-3171（代表） FAX：0887-52-4561

在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

地域外

嶺北地域

高度急性期

高知市内 他
救命救急センター

地域包括
ケア病棟

地域の医療機関

救急対応病院
中軽症救急
対応

在宅医療調整

連携

一般病院
老人保健施設
特別養護老人ホーム

地域包括
支援センター

ケアマネジャー

介護サービス

居室
訪問看護
訪問介護
訪問リハビリ
通所介護 等

施設
特別養護老人
ホーム
老人保健施設

介護予防を
しっかりと
地域で集う場
サロン
あったかふれあい
センター 等

ケアハウス
グループホーム
養護老人ホーム
病院併設住宅
高齢者住宅

サービス提供

受診

入院
退院

救急

課題 帰ってきたい人が、行ったりに
なっていない？

高知市内の病院の退院調整のキーマンに、嶺北地域の受け皿体制について理解してもらっていない。

嶺北地域を広報する！

自分たちの資源、できること、創ろうとして
いるものをPR

長期療養・介護が必要になったとき、どこに住みたい？

一番
大切

「本人、家族の思い」

必要

判断できる正しい情報

療養場所の選択
肢を増やす！

地域でできること
・地域での見守り
・過度な自尊心を
和らげ自分からS
OS
・住民同士で生活
や食を支え合う



地域包括ケアシステムの構築を目指して

どこに生まれ育っても、病気や障害があっても自分らしい人生が全うできる地域であってほしい

救急車で高知市内の病院に入院した人の場合で...

本人の思い

- ・そろそろ、退院準備をと言われた。どうしたらいい？
- ・嶺北に帰りたいけれど、誰にも迷惑をかけずに生活できるか不安。高知に居る子どもの言うことを聞いた方がいいかも？
- ・在宅療養の具体のイメージがわからない。どんなサービスが受けられるのかよく分からない。
- ・費用は？自分で払える額ならいいけど。子どもに負担をかけたくない。
- ・困りごとを相談できる人が近くに居てくれると安心。

家族の思い

- ・本人の思いを大事にしたいが、退院後、すぐには嶺北の自宅には心配で帰せない。
- ・嶺北地域の医療、介護ってどんなことをしてくれるのかよくわからない
- ・退院(転院)と言われても行き先が分からない。病院が紹介してくれるところに行く方がスムーズで負担が少ないのかな。
- ・回復してももう少し入院してくれてほしいと安心。
- ・本人・家族の思いを実現するためにサポートしてくれるところがほしいがほしい。
- ・どんなサービスを受けるにしてもできるだけ費用が安い方がいい。
- ・自宅に帰ったら、すぐには駆けつけられることができないので、地域の人が見守ってくれてほしいと少し安心。

本人・家族の思いにどこまで応えられるのか。

住民に最初からあきらめさせない

方
老
支
援

一緒に取り組めること

?

それぞれの立場でできること

本人・家族の立場に立って

方針、目標を定めて実行！

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(1) 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
早明浦病院	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症関係の研修会に職員を参加させ、現場での活用に取り組んだ。3月17日には、外部講師を病院に招き、平成28年度最後の認知症研修会を行う。 ・土佐町認知症初期集中支援チーム員会議にDr、Ns、OT等が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に対する理解を深め、資質を磨き、実践に活かすことができるよう、各種研修会等へ積極的に参加する。 ・土佐町認知症初期集中支援チーム員会議にDr、Ns、OT等が参加 ・地域住民の皆さんの認知症に対する理解を深めていただくため、要請があれば、各種団体等の主催する会議等に参加し、意見を述べ、お話しもしたい。
嶺北中央病院	各地区講演会、各種研修会の参加	各地区講演会、各種研修会の参加
高知県看護協会 嶺北地区代表	<p><看護協会研修会 ></p> <p>○5月18日 高齢者の理解と認知症の人への看護</p> <p>○7月8日・9日/10月13日・14日/ 1月17日・18日各2日 認知症高齢者の看護実践に必要な知識</p> <p>○11月10日～11月12日3日間 看護職員認知症対応力向上研修(県の委託)</p> <p><看護協会土佐山田、本山、南国支部研修 ></p> <p>○11月25日 認知症の症状アセスメントとケア</p>	研修会等への参加推奨
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	<ul style="list-style-type: none"> ・支部等の研修会へ積極的に参加しました。 ・気軽に店内で相談できる雰囲気を作り、気づきノート活用し多職種につながることが出来ました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き気づきノートを活用し、多職種と連携をとります。 ・地域ケア会議、研修会へ参加します。 ・お困り事の相談窓口になる。
中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会嶺北代表		連絡票(医師⇄ケアマネジャー)をケアマネジャーへ配布し、啓発していく。

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(1) 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
本山町	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアパスH29年3月完成 ・在宅医療・介護連携推進事業に関する検討会での具体的事業推進 ・認知症初期集中支援チーム員の自宅訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進事業に関する検討会で昨年度決定した事業の円滑な推進に向けての協力 ・認知症ケアパスを全戸及び関係機関に配布 ・認知症初期集中支援チームだけでなく、保健師、包括職員、介護支援専門員とで訪問する機会を増やす ・認知症に関する認識を普及させるため、国庫事業(仮)等を活用した普及活動や見守り事業(本山町地域見守りネットワーク事業)との協同活動への取り組み
大豊町 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターとの定例会(月1回) 地域ケア会議(1回/2月) 医療機関との連携 随時 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターとの定例会(月1回) 地域ケア会議(1回/2月) 医療機関との連携 随時
大豊町	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症初期集中支援チームチーム員研修終了者:保健師1名、社会福祉士1名 研修終了者による伝達講習の実施により、認知症初期集中支援チーム員を確保した。 現在、チーム員として活動できる者は、医療系専門職:保健師4名(大豊町)、福祉系専門職:社会福祉士1名(大豊町)、介護福祉士1名(大豊町社協) 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症初期集中支援チームの名称を『もの忘れ相談係』として住民に周知・啓発を行う。 ○早期発見につながるツール(DASK等)の勉強会の実施
土佐町	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議(個別ケア会議)(12/8、3/9) ・認知症初期集中支援チームでの対応(チーム員会議、訪問支援)11/2→3月に2回目のチーム員会議予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議(5月予定) ・地域ケア会議(個別ケア会議)の定期開催 ・認知症初期集中支援チームでの対応が必要なケースへの支援を継続
大川村 大川村社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ケア会議や日頃の情報共有にて、認知症疑いのケースの情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の見守り、見守りからのつながり、家族との連絡、専門機関への紹介、と流れはできている。しかし、認知症について、住民のイメージなどから、相談がスムーズに出にくく、関係機関の切り出すタイミングに苦慮している。住民への、認知症普及啓発の実施が必要。

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(2)在宅ケアを支えるため入院・入所施設との連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
早明浦病院	<p>土佐町地域ケア会議にDr、PT等が参加 退院前カンファレンス、退院前訪問、退院時リハなどを積極的に行った。 ・訪問リハ契約者は増加傾向にある。</p>	<p>・土佐町地域ケア会議へDr、PT等が参加し、在宅へ向けた取り組みに参画する。 ・引き続き退院前カンファレンス、退院前訪問、退院時リハなどに積極的に取り組む。 ・看護奨学金制度のPR。介護職員等への拡充とそのPR</p>
嶺北中央病院	<p>退院前カンファレンス、退院前リハビリ訪問の積極的運用、地域包括支援センターとの連携による情報収集</p>	<p>退院前カンファレンス、退院前リハビリ訪問の積極的運用、介護家族の負担軽減につながるレスパイト入院の実施、地域包括支援センターとの連携による情報収集</p>
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	<p>お困り事を聞き出し、必要な支援をしたり連携をしました。</p>	<p>嶺北地域で求められる人材として活動していく。</p>
中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会嶺北代表	<p>中央東ブロックにて、10/14に研修(高齢社及び障がい者の個別ニーズから地域課題へ)を開催。障害や包括など関係者との連携を図ることができた。</p>	
本山町	<p>・嶺北中央病院地域連携室との協力により、関係者(地域ケアマネ等)を含めた連絡会の開催 ・包括支援センター職員が退院前カンファレンスへの出席</p>	<p>・病院地域連携室との協力により、地域の関係者との情報共有の場を定期的に待つことで、更に協同した活動となる関係性をつくる。 取り組み事項 ①退院前カンファレンスへの参加 ②レスパイト入院や入所への対応</p>
大豊町 社会福祉協議会	<p>医療機関、施設等からのカンファレンスへの出席はもちろんのこと、社協からも積極的に情報提供をお願いする。 退院時には、関係ある他事業職員と出席し情報を共有する。 勉強会、研修会へ積極的に参加し、職員間で研修内容を共有する。</p>	<p>医療機関、施設等からのカンファレンスへの出席はもちろんのこと、社協からも積極的に情報提供をお願いする。 退院時には、関係ある他事業職員と出席し情報を共有する。 勉強会、研修会へ積極的に参加し、職員間で研修内容を共有する。</p>

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(2)在宅ケアを支えるため入院・入所施設との連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
大豊町	<p>○嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業実施検討会</p> <p>・在宅医療と介護の連携事業の実施に関する4町村による協定の締結 2月21日</p> <p>・ICTを活用した地域包括ケアシステムの推進研修会</p> <p>○退院前カンファレンスへの参加、自宅訪問への同行</p> <p>○受診・入院・入所時等、地域包括支援センターからの情報提供</p> <p>○町内で、障害・高齢福祉・介護の関係職員が必要に応じて連携をとり、総合的に対応する。</p>	<p>○嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業の一部を医師会等へ委託。コーディネーターを配置し、在宅医療・介護連携推進事業を実施する。</p> <p>○入院、入所、退院、退所を通じて、地域、医療機関や施設が、切れ目のないサービスが出来るようにする。</p> <p>○健康づくり、国保医療、後期高齢医療、障害福祉、高齢福祉、介護、庁舎内の横の連携を密にし、住民の介護予防とサービス向上に努める。</p>
土佐町	<p>・在宅医療・介護連携推進事業実施検討会において、医師会との連携・共同体制について4町村で合意を図った。</p> <p>・事例に応じて医療機関と連絡を取り合い、適宜カンファレンスを実施した。</p>	<p>医師会と連携した在宅医療・介護連携推進事業の実施。</p>
・大川村 ・大川村社会福祉協議会	<p>医療機関SWとの連携、随時できた。</p> <p>診療所の2階については、実際に職員が使用して不便なところの課題や、使いにくい理由を検討中。(現在、対象としては支援を要しない高齢者としている)</p>	<p>退院しても受け入れられる村の体制を検討。(住民、関係機関、行政の共通認識をもてるような)</p>

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(3) 地域が一体となった看護・介護職員の確保対策の推進

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
早明浦病院	<ul style="list-style-type: none"> ・「れいほく就職相談会」(10月10日)に参加し、病院(施設)のPRを行った。平成29年2月26日(日)ふくし就職フェアに参加し、病院(施設)のPRを行い就職を勧誘した。 ・3月18日の看護職員就職説明会に参加し、病院(施設)のPRを行い、勧誘に努める。 ・3月13日～15日まで嶺北高校2年生の体験学習を受け入れることにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に引き続き、「れいほく就職相談会」、「ふくし就職フェア」、「看護職員就職説明会」に参加し、人材の確保に努める。 ・ホームページ等の広報活動を通じて就職の勧誘を行う。 ・病院や施設の見学、体験学習等を受け入れ、若者の就職につなげていく。
嶺北中央病院	<ul style="list-style-type: none"> 家族用職員住宅の確保、町内の空家の当合せ、奨学金の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族用、単身者用職員住宅の確保、町内の空家の当合せ、奨学金の確保。
高知県看護協会 嶺北地区代表	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の施設の可能な範囲での研修のオープン化継続等) (感染対策) ○10月10日本山プラチナセンターれいほくふくし・介護・医療就職相談会への参加 ○3月18日就職説明会(かるぽーと)参加予定 ○看護協会内ナースセンター復職支援研修12月、2月 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の施設の可能な範囲での研修のオープン化継続 ○嶺北就職相談会等への参加 ○就職説明会(かるぽーと)参加 ○職場体験、ふれあい看護体験、復職支援研修等 可能な施設での受け入れ
嶺北地区介護施設 代表	<ul style="list-style-type: none"> 人材確保のための取り組みとして、嶺北高等学校キャリア教育「福祉・医療の仕事を知る」の授業へ講師として職員3名を派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的な人材確保に向け、小・中・高のキャリア教育や職場体験事業へ積極的に参加していく。
本山町	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度における介護職員初任者研修の開催方法を協議(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 嶺北4町村合同による介護職員初任者研修の開催と参加者への嶺北管内事業所のチラシ(求人等)配布

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(3) 地域が一体となった看護・介護職員の確保対策の推進

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
大豊町	<p>○町内に、居宅介護支援事業所1カ所と地域密着型通所介護事業所1カ所が、新規開設した。</p> <p>☆新規に、町内で働く介護職員の支援となるよう、地域包括支援センターの職員を中心に、ケアマネ支援として同伴訪問や嶺北内の社会資源について情報提供等をおこなった。</p> <p>○地域包括支援センターの1回/月の定例会(情報交換会)、1回/2月の地域ケア会議を通して、顔の見える関係づくりとスキルアップを目指した。</p>	<p>新規事業所の開設に伴い、町内で働く職員数は増えている。</p> <p>町内で活動する事業所や職員の数の確認を行い、増えたマンパワーが住民のサービスの向上に結びつく事を目指す。</p>
土佐町	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修(嶺北3町1村合同開催)9月4日～12月18日 ・介護職員初任者研修の最終日(12/18)に各事業所の介護職員募集に関するチラシを配布 	<p>介護職員初任者研修の継続実施を検討</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大川村 ・大川村社会福祉協議会 	<p>社会福祉協議会事務局長、職員の研修等への参加ができた。</p>	<p>社会福祉協議会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局長以下職員全員がスキルアップできるよう研修への参加。研修参加のための時間確保。 地域包括支援センターの役割の明確化 ・包括運営協議会の実施

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(1) 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
嶺北中央病院	各地区講演会、各種研修会の参加	各地区講演会、各種研修会の参加
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	学生を受け入れた際に認知症の方とどう向き合っていくかを理解してもらうため、対応ガイドブックをプレゼントした。	
嶺北地区介護施設 代表	①キャラバン・メイト養成講座を2名が受講。(現在有資格者7名)2月に全職員を対象にサポーター養成講座を実施予定 ③社会福祉法人の地域貢献事業として、介護者の集いの場実施のための準備(3月下旬にプレオープン)	①認知症サポーター養成講座へキャラバン・メイトを派遣 ③介護者の集いの場を定期的実施
中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会嶺北代表	メイト養成について一部啓発していくことができた。 家族会についても、家族への啓発することができた。	認知症サポーターやメイト養成を啓発していく。
本山町	・各地域ミニデイでの認知症サポーター養成講座開催(11/7,11/9、11/18、11/21、11/26、12/1、12/8、12/15、1/21 合計新規サポーター数184名) →サポーター養成講座へ住民のキャラバンメイトの方の参加促進できた ・家族会の開催を12月に計画したが、出席者がいなかった ・一般住民と高齢者福祉に関する専門職を対象とした「高齢者権利擁護研修会」を12/12に開催	・キャラバンメイトの方と協力して事業展開をはかる ・認知症に関する認識を普及させるため、国庫事業(仮)等を活用した普及活動や見守り事業(本山町地域見守りネットワーク事業)との協同活動への取り組み ・本山町地域見守りネットワークに参加し、関係機関への協力要請を情報共有 ・各地域ミニデイを対象に認知症(介護予防を含む)講座で開催
大豊町 社会福祉協議会	認知症地域支援推進員の研修会への参加 認知症地域支援推進員によるあったかふれあいセンター:ミニデイでの啓発活動開始	民生委員協議会定例会で、認知症の理解を深める 中学生のボランティアキャンプでのサポーター養成講座の実施 認知症地域支援推進員の活動 1. あったかふれあいセンターでの啓発活動 2. 認知症カフェの開設

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(1) 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
大豊町	<p>○教育委員会、小学校・中学校の学校長に来年度学校で認知症サポーター養成講座の依頼を行う。</p> <p>○家族会を1月12日に開催。 参加者:3家族 テーマ:「臭いについて」 消臭力の強い洗剤のサンプル配布 「家族会の名称について」 ☆参加者から名称の提案があり「おしゃべり会」となる。</p> <p>○家族会についてのアンケートを、在宅介護実態調査と一緒に実施。</p>	<p>○小学校、中学校の生徒や教師に認知症の人を含む高齢者への理解を深めるように教室を実施する。</p> <p>○おしゃべり会(家族会)半年に1回開催する。 アンケート結果を『おしゃべり会』に反映させる。</p>
土佐町	<p>介護家族のつどいの支援継続(12/15,2/9)</p>	<p>・介護家族のつどいの支援を継続 ・生活支援コーディネーターが中心となって行う生活支援体制整備事業の中で、認知症を含めた地域の見守りや支え合いについて検討する。</p>
<p>・大川村 ・大川村社会福祉協議会</p>	<p>住民・地域からの相談の情報共有。(行政、社会福祉協議会、診療所)</p>	<p>日頃の見守り、見守りからのつなぎ、家族との連絡、専門機関への紹介、と流れはできている。 しかし、認知症について、住民のイメージなどから、相談がスムーズに出にくく、関係機関の切り出すタイミングに苦慮している。住民への、認知症普及啓発の実施が必要。</p>

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(2) 認知症等の要援護者を支援する行政、専門職と住民の連携

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
嶺北中央病院	2ヶ月に1回地域包括ケア会議開催。包括支援センターとの情報共有。	2ヶ月に1回地域包括ケア会議開催。包括支援センターとの情報共有。
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	依頼のあった会へ出席し、意見交換を行いました。	他地域の関係機関から相談(認知症以外でも)してもらえる関係性をつくりたい。
本山町	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との定期的な意見交換会の開催 ・認知症ケアパス作成過程で、住民キャラバンメイトや社協との検討会を開催(11/16) ・一般住民と高齢者福祉に関する専門職を対象とした「高齢者権利擁護研修会」を12/12に開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との定期的な意見交換会の継続 ・認知症に関する認識を普及させるため、国庫事業(仮)等を活用した普及活動や見守り事業(本山町地域見守りネットワーク事業)との協同活動への取り組み
大豊町 社会福祉協議会	地域包括支援センターと連携し、地域での普及・啓発活動をとおして、地域での支援体制を検討する町主催認知症予防教室への認知症地域支援推進員の参加	地域包括支援センターと連携し、地域での普及・啓発活動をとおして、地域での支援体制を検討する。 地域にあった仕組みを考える場づくり(ミニデイリーダー交流会等)民生委員を中心とした地域での見守り体制(医療情報キットの充実・更新)
大豊町	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症予防教室を住民モニターと6回実施。 ☆認知症予防教室を包括等が実施し、住民が参加するというタイプの物ではなく、住民自主活動や参画する活動(あったかサテライト等)に、認知症予防のエッセンスを持ち込み、全ての活動を通し、認知症予防の活動とする。 →必要なのは、教室ではない。啓発と学習と実践の場。 ○自主活動グループのリーダー交流会を実施。 ○あったかサテライトで認知症の知識の啓発を地域支援推進員が実施。ミニデイのメニューに脳トレを導入開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既存のあったかサテライトや自主活動の場で、主催者等に賛同いただけたところに、認知症カフェの看板を掲げる。 ○身近なところで、相談・見守りができるよう、連携と仕組み作りを行う。
土佐町	認知症ケアパス(案)作成中	あじさいネットのメンバーで認知症ケアパス(案)を検討し完成させる

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(2) 認知症等の要援護者を支援する行政、専門職と住民の連携

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
<ul style="list-style-type: none"> ・大川村 ・大川村社会福祉協議会 	認知症に限らず、介護を要する方・その家族をマッピング。村内東西で特色あり、平成28年度10月から介護負担の多い西地区において、あったかふれあいセンター事業寄りどころ開催。(週2回)	今後の寄りどころの場を活用した、認知症も含む相談の場の開催。(専門職による)